



【取扱説明書(U-EP83)】

この度は、当社工具をお買い上げいただき、誠に有難うございます。

- ご使用に先立ち、この「取扱説明書」全てをよくお読みの上、指示に従って正しく使用して下さい。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

●注意文の 警告、 注意の意味について

警告	誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容の注意。
注意	誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容の注意。

なお、 注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な事項を記載していますので、必ずお守り下さい。

I. 安全上の注意

- 工具を正しく安全にお使いいただき、火災、感電、怪我等の事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上の注意」を必ずお守り下さい。

警告

(1) 作業環境

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読み下さい。
- 本取扱説明書に指定された用途以外にはお使いにならないでください。
- 可燃性の液体やガス、粉塵のある所では使用しないでください。
電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因となります。
- 作業場所は明るくし、常に整理整頓を心がけてください。
- 作業場所に、関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険ですから注意してください。

(2) 電気に関する安全事項

- 電動工具のプラグはご指定のものをご使用ください。また絶対に電源プラグを改造しないでください。
- 電動工具を使用中に、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例) 鉄パイプ、電子レンジ、冷蔵庫、暖房器具など
- 電源コードは乱雑に扱わないでください。
・コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
・コードには熱、油、尖ったものに近づけたり触れたりしないでください。
・コードを傷つけたり、もつれたりしないように扱ってください。
- 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿ったまたは濡れた場所で使用しないでください。
・工具内に水が入り、本機による感電やバッテリーが短絡する恐れがあります。
- 使用環境に適した充電コードを使用してください。

(3) 作業上の安全事項

- 十分に注意して作業を行ってください。
・電動工具を使用する場合は、作業内容、取り扱い方法など注意を払い慎重に作業してください。
・次のようなときはご使用しないでください。
①疲労しているとき ②飲酒しているとき ③薬を服用しているとき
- 安全保護具を使用してください。
・作業時には必ず保護メガネを使用してください。また、粉塵の多いところでは防塵マスクを併用してください。
・作業環境に合わせて、安全靴、保安帽なども併用して下さい。
- 工具のスイッチに指や手をかけて持ち運ばないで下さい。機械が不意に作動すると危険です。
- 電動工具の電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパンなどの工具類が取り外されているか必ず確認してください。残っていると大きな事故につながる可能性があります。
- 無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
- 作業に適した服装で行ってください。
・だぶだぶの服やネクタイ、ネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないで下さい。
・屋外での作業の場合には、皮手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆って下さい。
- 電動工具が吸塵用の場合は、吸塵用装置や吸塵バックが正しく取り付けられているか確認してください。

(4) 電動工具の使用方法和手入れ

- 無理な作業はしないでください。工具の能力にあった負荷でご使用ください。
- 電源スイッチが作動しない場合は危険ですので、使用しないでください。使用せずに修理に出してください。
- 電動工具を調整するときや保管する場合は、スイッチを切り本体からバッテリーを外してください。
- 使用しない工具や付属品の保管場所として、次のような場所は避けてください。
× お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
× 温度や湿度の急変する場所 × 湿気の多い場所 × 直射日光の当たる場所

- 電動工具を長く利用いただくために、保守点検をしてください
・可動部の調整及び締め付け、部品の摩擦状況のチェック、破損部品のチェックを行ってください。
・メンテナンス不足は故障の原因となります。
・故障なく使用できるように、刃物類は常に手入れをしてください。
- 先端工具は鋭利できれいな状態を保持してください。
- 電動工具、アクセサリパーツ及び部品は、作業状況や作業効率に合わせて使用してください。
また指定された用途以外に使用すると、事故の原因となります。

(5) 充電工具の使用方法和手入れ

- バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
スイッチが入っている状態でバッテリーを差し込むと、機械の破損、事故につながります。
- バッテリー及び充電器は必ず純正のものを使用してください。純正以外のものを使用すると発熱、火災、損傷の原因となります。
- 改造したバッテリーの使用及びバッテリーの改造は絶対にしないでください。
- バッテリーは他の金属と一緒に保管しないでください。
・釘、コイン、ネジ類、小さな金属片などと保管すると、短絡して発熱、火災の恐れがあります。
- 本機を保管する場合は、必ず電源コードとバッテリーを外してから保管してください。
- 過酷な状況下(高温など)では、バッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体には触れないでください。
・万が一、触れてしまった場合は、直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合も、直ちに水で洗い医師の治療を受けてください。
・バッテリーの液は、炎症や火傷の原因となります。

(6) 整備及び修理について

- 本機が故障した場合は、専門家に依頼し純正部品のみで修理してください。
・本機が発熱したり、異常に気付いたときは点検・修理に出してください。
・本機は安全規格に適合しているため、改造はしないでください。
・修理は必ず、お買い上げの販売店もしくは当社にお申し付けください。

(7) その他の安全事項

- 使用する前に損傷した部品がないか確認してください。
損傷した本機、充電器、コードは使用せず、良品に取り替えてください。
- 本機に取り付けるアクセサリパーツは必ずメーカー推奨品を使用してください。これ以外のもを使用した場合、故障や損傷の原因となりますのでご注意ください。
- 作業物はしっかりと固定して作業してください。
- 本機及び充電器、バッテリーは水に濡らさないようにしてください。損傷、火災の原因となります。
- 電源プラグを外すときはケーブルを持って引き抜かないでください。また、電源コードは足で踏んだり、絡ませたりしないでください。損傷の原因となります。
- 使用済みのバッテリーは一般家庭ごみとして廃棄しないでください。
- 充電器、バッテリーに衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。
- 充電器の通風口を塞がないでください。また、ほこりの多い場所での充電はしないでください。
火災の原因となります。
- 充電器は、充電以外の用途には使用しないでください。
- 充電中に発熱などの異常に気が付かれた場合は、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発火、破裂の恐れがあります。
- 充電中は、充電器やバッテリーを箱の中や布などで覆わないでください。破裂、火災の原因となりますので、風通しの良い環境で充電してください。
- バッテリーを炎天下や火のそばなどの高温の場所で充電、使用、保管しないでください。
バッテリーは気温が50℃以上のところでは保管しないでください。バッテリーの劣化や発火の恐れがあります。
- バッテリーパックの充電は、気温が10℃以下または40℃以上のときはしないでください。
破裂や火災の恐れがあります。
- 使用済みバッテリーは絶対に焼却しないでください。火中で爆発する可能性があります。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 発電機からの充電は絶対に行わないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 本機の充電器は、家庭用AC100～240V以外のご使用はしないでください。

注意

この取扱説明書は大切に保管してください。(お使いになる方が、いつでも見ることが出来る所に)騒音に関しては法令および各都道府県などの条例で定める規制があります。周囲に迷惑をかけぬよう規制値以下で使用される必要があります。状況に応じ、遮音壁などを設け使用して下さい。

II. 電動工具の使用上の注意

⚠ 注意

1. 運転中は、絶対に回転部には手を触れないでください。怪我の危険があります。
2. 運転中は、工具類や回転部などに手や顔などを近づけないで下さい。怪我の原因になります。
3. 軍手など巻き込まれる恐れのある手袋は使用しないでください。
4. 機械や付属品は、その能力を超えて使用したり、急激な操作はしないでください。
5. 先端工具や付属品は確実に取り付けてください。外れたリケガの原因となります。
6. 取り付けられたカバーやネジは外さないでください。
7. 高い場所では下に人がいないことを確認してから作業してください。また、本機は安全で安定した場所に置くようにしてください。
8. 人や生き物などに向けて機械を動作させないでください。

III. U-EP83について

⚠ 注意

1. ご使用する前に必ず、各取り付け部品が緩んでいないか確認してください。
2. パットにバフを取り付ける際は、お互いの芯を合わせ、手のひらでまんべんなく押し付けて、確実に取り付けてください。
しっかり取り付けしていないと、稼働したときにバフが飛び出す可能性があり危険です。
3. 本機に取り付けるアクセサリパーツは、必ずメーカー推奨品をご使用ください。
4. 本機のバッテリーは、寿命を延長させるため、出力を自動停止させる保護機能が付いています。
スイッチを押してもモーターが停止するときは、この機能が作動しています。
・本機は過負荷をかけるとモーターが停止します。
スイッチを放し、再びスイッチを入れると使用することができます。
・バッテリーが加熱した場合(過負荷などによる)、停止します。
スイッチを放し作業を中止し、バッテリーを冷却してください。冷却後、再び使用できます。
5. 本機には低電圧防止機能が組み込まれています。これは、バッテリーの過放電から守り寿命を延ばすための機能です。
6. 本機の汚れを除去する場合、樹脂部分は次の溶剤で拭かないでください。ひび割れや破損の原因となります。
ガソリン、シンナー、ベンゼン、アルコール、アンモニア、オイル、塩素系など

III. バッテリーパックの脱着、充電方法及び注意

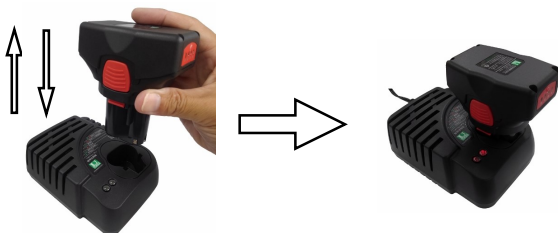
⚠ 注意

1. 本体とバッテリーの脱着方法
・本機からバッテリーを脱着する際は必ず本体スイッチを放し、静止した状態で行ってください。
・バッテリーの脱着方法
取り外し方法：バッテリーの両サイドにある赤のボタンを押しながら引き抜いてください。
取り付け方法：本体とバッテリーの溝に合わせて押し込んでください。
赤いつめが本体に引っ掛かり「カチッ」と音がします。
バッテリーがスムーズに入らない場合は、正しく溝が合っていないかもしれません。



2. 充電器とバッテリーの脱着方法

- ・取り付け方法：バッテリーを充電器の溝に合わせて最後まで押し込んでください。
- ・取り外し方法：充電器からバッテリーを引き抜いてください。



2. バッテリーの充電方法

- ・充電器にコードを差し込み、電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込みます。緑のランプが点滅します。
- ・充電器にバッテリーを差し込みます。赤のランプが点灯します。
- ・充電が完了すると緑のランプが点灯します。(約40分で満充電となります)
- ・バッテリーを充電器から抜き取り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ・新品のバッテリーパックや長期間使用していないバッテリーパックを充填しても、満充電にならない場合がありますがこれは故障ではありません。数回充電し、完全に放電させてから再度充電すれば満充電にすることができます。
- ・充電器を保管するときは、充電器からバッテリーを必ず取り外してから保管してください。

3. 充電器の表示ランプの見方

- ・通電中：緑のランプが点滅します(バッテリーは未挿入)
- ・充電中：赤のランプが点灯します
- ・充電80%：緑ランプが早く点滅します
- ・充電100%：緑ランプが点灯します
- ※バッテリーパックが加熱したり、冷却された場合：赤ランプがゆっくり点滅します
- ※バッテリーパックの故障：赤・緑ランプが点灯状態となります

4. 充電上の注意点

- ・本機の充電器は、家庭用AC100～240V以外でのご使用はしないでください。
- ・充電中にバッテリーが非常に加熱されたり冷却された場合、充電ができない場合があります(充電器のランプが赤くゆっくりと点滅します)。バッテリーパックの温度が0℃～50℃に戻ると自動的に充電を始めます。
- ・雨や雪の中、高温での充電はしないでください。
- ・発電機からの充電は絶対にしないでください。
- ・バッテリーの保管は直射日光を避け、乾燥した低温のところで保管してください。(最適温度は25℃以下です)
- ・バッテリーを長期間放置しないでください。3～6か月ごとに充電してください。保管する前にバッテリーを80%まで充電してください。

5. その他の注意点

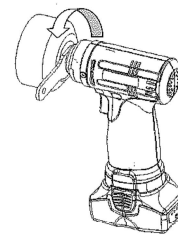
- ・満充電のバッテリーは再度充電しないでください。
- ・使用済みバッテリーは、リサイクルとなります。
- ・充電器及びバッテリーの保管場所として次の場所は避けてください。
×お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せるところ ×温度や湿度の急変するところ
×湿気の多いところ ×直射日光の当たるところ ×揮発性物質の置いてあるところ

IV. 作業方法

⚠ 注意

1. パットの交換方法

パットの交換は、付属品のスパナを図のように差し込み、パットを手で固定しスパナを図の矢印の方向に回してパットを取り外してください。パットの取り付けは、パットのネジが最後まで入る所まで回し、最後はしっかり付属品のスパナで締めてください。ネジが緩んでいると、スイッチを入れたときにパットが飛び出す可能性があります。



お買い上げの際、販売店名・連絡先などを下欄にメモしておかれますと、依頼される際に便利です。

お買い上げ日	販売店名
年 月 日	電話番号